

(別表)京都市一人暮らし体験等事業受託事業者選定基準

評価項目		評価内容	配点
居室	提供維持管理	障害のある方が利用しやすい居室の提供並びに必要な家具家電及び生活消耗品を常時確保し、利用に供する居室環境を維持管理することができるか。	× 2
	所在地の利便性	提供する居室の所在地の利便性(駅、停留所、商業施設等までの距離が短い等)が良いか。	× 2
連携	連携	地域生活支援拠点等コーディネーターや支援チームが実施する一人暮らし体験のプログラム策定や体験後の総括等において、関係機関と連携が適切に行えるか。	× 3
		地域住民等から本事業に対しての理解を得るための工夫が行えているか。	× 2
受入	受入	本事業の目的を十分に理解し、利用申込者の一人暮らし体験プログラムの内容や個別配慮事項等を踏まえ、幅広く利用者を受け入れることができるか。	× 3
		一人暮らし体験プログラムに基づく平時における体験の受入の他、緊急的な受入を行えることができるか。	× 3
体制	体制	本事業を実施するための人員体制が十分に整っているか。	× 1
		緊急対応等が行える体制が整っているか。	× 1
		個人情報情報を適正に取扱うことができるか。	× 1
見積金額	提案内容に対して、見積金額が妥当か。 ※上限額を上回った場合は、失格とする。	× 1	
その他	受託候補者の所在地が京都市内であるか。	× 1	
満点:100点			
(最低選定基準点は60点とし、当該基準以上の点数の者から選定する。)			

※【評価点の考え方】(評価項目「その他」以外)

評価点	採点の基準
5	優れている
4	やや優れている
3	標準
2	やや劣っている
1	劣っている

※【評価点の考え方】(評価項目「その他」)

評価点	採点の基準
5	京都市内にある
0	京都市内にない